

中部様式

令和2年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

犬山市地域公共交通会議

平成19年4月1日設置

フィーダー系統 令和元年6月26日 確保維持計画策定

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
バス再編後の利用状況等の分析を行うとともに、乗りこぼし対策を講じるなど、更なる利便性向上に努めることを期待します。	再編前における収支率は12.9%であり、再編2年目は10.8% (▲2.1%) となった。 乗りこぼし対策として、タクシー車両を利用した対応スキームを確立しました。	利用状況については、継続して情報を取得し、分析を行います。
GTFS化を推進し、観光施策と連携を図ることを期待します。	GTFS化については、「国土交通省総合政策局モビリティサービス推進課・地域交通課、観光庁」主体のバスデータのオープンデータ化事業に参加し推進しています。	GTFS化したデータについては、利用者にとって生きた情報となるよう、継続的にメンテナンスを実施していきます。

【本市の目指す姿・方向性】

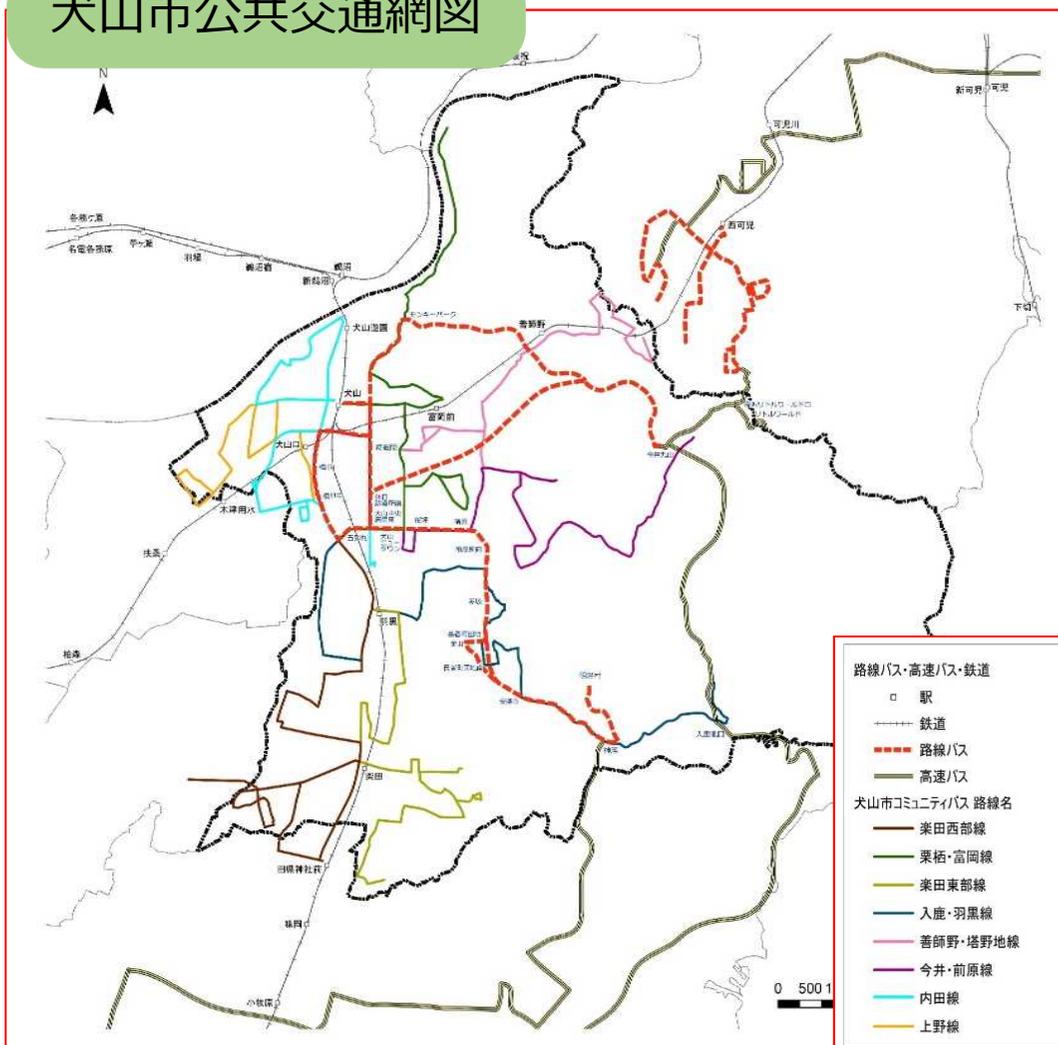
第5次犬山市総合計画に基づき、効率的、効果的なコミュニティバスの運行により交通空白地の解消と安心して利用できる移動手段の確保を目指している。

また、都市計画マスタープランに基づき、「いつまでも暮らし続けたいくなる都市」を目指すべく、バス交通の利便性を向上させ、多様な都市機能が充実した犬山駅、羽黒駅、楽田駅等の主要鉄道駅周辺と民間の路線バスやコミュニティバス等の公共交通を接続し、ネットワーク化を目指している。

【市内公共交通の役割分担】

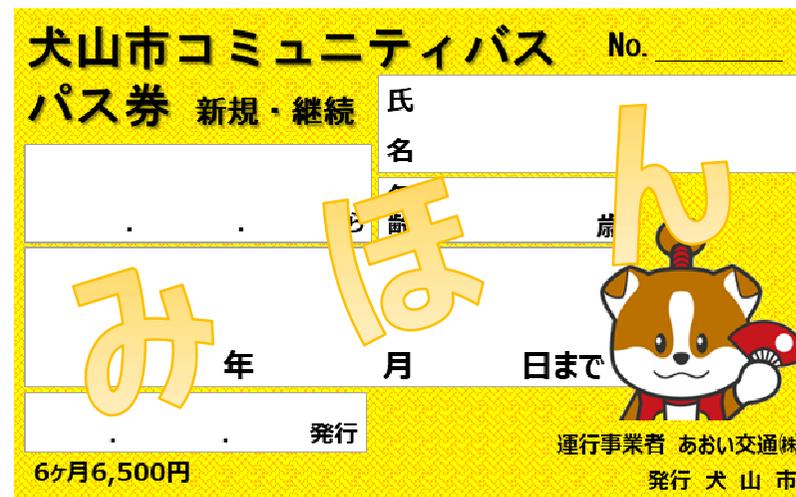
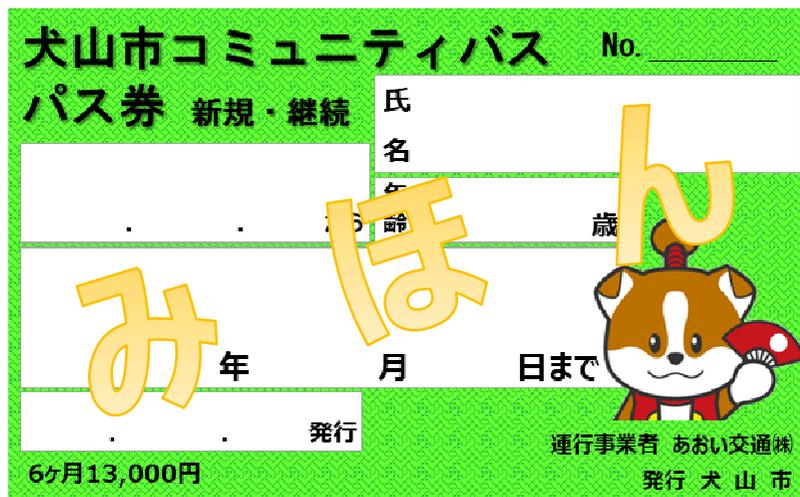
- 鉄道：市域を跨ぐ広域輸送
- 民間バス：主に観光路線を軸とした輸送
- タクシー：民間バス及びコミバスでカバーできない領域（地域・時間）の輸送
- コミバス：鉄道への接続を軸とした輸送

犬山市公共交通網図



【取組み①】 パス券の販売

利用者の更なる利便性向上及び新規利用者開拓を目的とし、6ヶ月有効の定期乗車券である「コミュニティバスパス券」を販売した。



【料金】	85歳以上の高齢者及び小学生	6,500円
	一般（上記以外の人）	13,000円

【有効期間】 6ヶ月

※参考：一般の人が週3日利用した場合、回数券では約14,200円となり、パス券利用の方が1,200円お得となる。

【販売実績】 12月末日時点
 6,500円 × 12名 = 78,000円
 (85歳以上高齢者：10名、小学生：2名)
 13,000円 × 8名 = 104,000円

【その他取組み】

- ・モビリティマネジメントの一環として、市内在住の小中学生を対象に、コミュニティバスを無料で乗車できる乗車券を発行し、コミュニティバスへの親しみを深めてもらう事業を実施した。
- ・モビリティマネジメントの一環として、犬山市立城東中学校3年生（全5クラス）を対象に、公民の授業においてコミュニティバス（公共交通）に関する内容の講義を実施した。

- ☆令和元年11月18日：1組、5組
- ☆令和元年11月20日：2組、3組
- ☆令和元年11月28日：4組



- ・満員によりコミュニティバスに乗車できない事象（積み残し）の対策として、タクシー車両を活用し、当初の目的のバス停まで運行するスキームを確立した。
- ・安心してコミュニティバスに乗車してもらうため、運行開始前・回送時・運行終了後の車内消毒及び換気を実施。また、それらを車内に掲示し、利用者へのPRを行った。

4.計画の達成状況の評価指標とその結果 (Check)

【目標①】 市内全駅での1日当たりの鉄道利用者数29,000人の維持

結果：令和元年度実績30,993人となり目標を達成

【目標②】 コミュニティバス年間利用者数の総計110,000人以上 (R1.10.1～R2.9.30)

補助対象路線名	目標 (人)	結果 (人)	達成の状況	昨年度実績 (人)
栗栖・富岡線	14,000	12,890	× (達成率：92%)	14,881
上野線	14,000	14,321	○ (達成率：102%)	14,699
今井・前原線	22,000	19,944	× (達成率：91%)	23,044
楽田東部線	5,500	5,759	○ (達成率：105%)	6,617
善師野・塔野地線	18,000	15,184	× (達成率：84%)	18,261
内田線	8,500	9,313	○ (達成率：110%)	10,041
計	82,000	77,411	× (達成率：94%)	87,543

補助対象外路線名	目標 (人)	結果 (人)	達成の状況	昨年度実績 (人)
楽田西部線	9,000	7,649	× (達成率：85%)	9,039
入鹿・羽黒線	19,000	17,487	× (達成率：92%)	18,602
総計	110,000	102,547	× (達成率：93%)	115,184

結果：年間利用者数総計102,547人 (達成率：93%) であり、目標は未達成

【目標②】 コミュニティバス年間利用者数の総計110,000人以上 (R1.10.1～R2.9.30)

結果：年間利用者数総計102,547人（達成率：93%）であり、目標は未達成

【考 察】 新型コロナウイルス感染症拡大や緊急事態宣言（移動自粛）の発令等により、利用者が減少し、目標は未達成となった。

しかしながら、減少率は前年度と比較し、▲11%にとどまっており、コロナ禍においてもコミュニティバスは移動が必要な人の足として機能したと考える。

【課題①】

コロナ禍においても、利用者が安心して公共交通を利用していただくための更なる施策を講ずる必要がある

【対応】

- ・市独自の地域クーポン券発行によるタクシー利用の促進
- ・乗車エチケットなど更なるPR

【対応】

- ・コミュニティバスにおける車内乗車混雑状況のリアルタイム配信(分散乗車の推進)

【課題②】

利用者が行きたい施設（公共施設、医療機関、商業施設等）が、どのバス停で降車すれば良いか分からないとの声がある

【対応】

利用者が行きたい施設（公共施設、医療機関、商業施設等）毎にどのバス停で降車すれば良いか分かる情報が載ったチラシ等を作成し、利用者の利便性向上に寄与
(鉄道やタクシーなどへの乗り換え情報含む)

【課題③】

利用者アンケート結果より、犬山市コミュニティバスの実利用者数は1,500人程度(人口の約2%)であり、リピーターが多い

【対応】

転入者へのPR、老人クラブ等との連携を図り、新規利用者の開拓を促進

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: 犬山市地域公共交通会議

令和3年1月8日

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
あおい交通株式会社	栗栖・富岡線	平成30年12月1日からの再編において「内田線」、「栗栖・富岡線」、「楽田東部線」の3路線は、地域からの要望に基づき、従来の大型車両では運行できなかった幅員の狭い道路を運行するため車両を小型化した。(32人乗り⇒12人乗り) このため「栗栖・富岡線」、「楽田東部線」の一部の利用者が、満員によりコミュニティバスに乗車できない事象(積み残し)が発生していた。この問題を解決するため、コミュニティバスの代替としてタクシー車両を活用し、当初の目的のバス停まで運行する対応を確立した。	計画通り適切に実施された	B	利用者数による年間目標値14,000人に対して12,890人の実績であり目標は未達成。【達成率:92%】 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う移動自粛等制限のため利用者減少	【目標】年間利用者数(令和2年7月6日生活交通確保維持改善計画より) ①補助金対象外路線含む計8路線:110,000人以上の維持 ②補助対象路線別目標 栗栖・富岡線:14,000人以上 上野線:14,000人以上 今井・前原線:22,000人以上 楽田東部線:5,500人以上 善師野・塔野地線:17,000人以上 内田線:9,500人以上 ※期間:R2.10.1~R3.9.30 【目標に対する考察】 新型コロナウイルス感染症拡大や緊急事態宣言(移動自粛)の発令等により、利用者が減少し、目標は未達成となったが、減少率は前年度と比較し、▲11%にとどまっており、コロナ禍においても移動が必要な人の足として機能したと考える。
	上野線			A	利用者数による年間目標値14,000人に対して14,321人の実績であり目標を達成。【達成率:102%】	
	今井・前原線			A	利用者数による年間目標値22,000人に対して19,944人の実績であり目標は未達成。【達成率:91%】 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う移動自粛等制限のため利用者減少	
	楽田東部線			A	利用者数による年間目標値5,500人に対して5,759人の実績であり目標を達成。【達成率:105%】	

善師野・塔野地線	行事業者から市内のタクシー会社へ連絡 ↓ ②タクシー車両が、利用者の待つバス停まで向かい、満員で乗車できない利用者を目的のバス停まで送る ※タクシー利用料金(認可運賃)は市が負担	A	B 利用者数による年間目標値18,000人に対して15,184人の実績であり目標は未達成。【達成率:84%】 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う移動自粛等制限のため利用者減少	【改善策】 新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況ではあるが、利用者が安心してコミュニティバスに乗車できるよう、車内の混雑状況を利用者が把握できるようにする。
内田線		A	A 利用者数による年間目標値8,500人に対して9,313人の実績であり目標を達成。【達成率:110%】	

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和3年1月8日

協議会名:	犬山市地域公共交通会議
-------	-------------

評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
----------	----------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>犬山市では、民間バスの撤退による公共交通不便地域の解消及び高齢者や自ら交通手段を持たない交通弱者を対象に、主要な公共施設や市街地等へ移動する手段として、平成12年度より4路線でコミュニティバスの運行を開始した。</p> <p>今後も、変化する市民ニーズに対応するとともに、高齢社会を見据え、コミュニティバスが市民の貴重な足としての機能を更に発揮し、市民が健康で豊かな暮らしを送るため事業を継続する必要がある。</p>
-----------------------------	---